

<p>第1回 (2010.10.4)</p>	<p style="text-align: center;">『図書館情報、および図書館の種類とその機能』</p> <p style="text-align: center;">古賀崇准教授 (附属図書館研究開発室)</p>
<p>第1回：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所：吉田南総合館 共東 41 ・ 出席者数：66名＋職員6名 ・ 配付物：PPT資料 (A4 両面 9p), 授業スケジュール (A4 片面 1枚), アンケート(A4 片面 1枚), LSN (A4 両面 1枚), 古賀先生執筆論文抜刷 (A4 両面 6p) ・ 参考文献：『大学生と「情報の活用」』 http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/jt_index.html (学内限定) <p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館とはどのようなところか ・ 図書館と研究活動との結びつき ・ 本科目の内容 ◆ この科目の目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「京大の図書館で何ができるか」を身につけてもらう ・ 実際に図書館のしくみを体感する (演習を通じて) ・ レポート・論文の執筆に必要な技能とルールを習得する ◆ そもそも、図書館とは何か? <ul style="list-style-type: none"> ◎ 図書館へのイメージ ◎ 自習室 (附属図書館 学習室 24) も確かにあるが... ◎ 図書館と言っても様々... <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立国会図書館関西館 / 京都府立図書館 / 京都国際マンガミュージアム ◎ 大学図書館とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の教育・研究を支援するための図書館 ◆ 大学図書館の資料とその他の情報源 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 大学図書館の資料の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術書・専門書が中心 ・ 幅広い範囲の資料を扱う ・ 電子的・ネットワーク上の資料が多い ◎ 図書 (学術書) と雑誌の違い <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術雑誌は一般の雑誌とは異なる! [実物紹介] ◎ 学術雑誌の中の論文の重要性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の研究成果が論文として現れる ・ 引用されることの多い論文が重要とされる ・ 雑誌の中の論文をいかに探し出すか、が大事なスキル ◎ 電子ジャーナル・データベース <ul style="list-style-type: none"> ・ 「商品」として大学が契約 ・ 京大では「ECS-ID」の取得がこれらの理由に必要 ◎ 図書館機構ウェブサイト http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/ ◎ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重書 / 書店にない冊子類 / 新聞など ◎ 情報を探すための、図書館におけるしくみ <ul style="list-style-type: none"> ・ 分類 / OPAC / 参考資料 (図書・データベース) ◎ これらをひっくるめて...大学図書館の役目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究と教育に役に立つ資料をそろえ、整理し、学生や教員に提供すること ◎ 相互利用による、図書館活用の向上 	

- ・ KULINE の場合
- ◆ インターネットと図書館との違い
 - ・ 資料・情報の観点 / 検索・探索の観点
 - ◎ Wikipedia をめぐって...
 - ◎ 図書館の資料とインターネット上の無料情報の比較
 - ・ ネット上の情報を「とっかかり」としつつ、図書館の資料で「裏を取る」べし!!
 - ◎ 図書館の資料は「目に見える」
 - ・ 館内を歩けば、どのような資料があるか把握できる
 - ・ 館の特性に応じ、資料の特色が出る
 - ◎ ネット上の情報は「目に見えない」
 - ◎ OPAC・検索エンジンの比較
 - ◎ 「検索の罨」
- ◆ 幕間 -古賀の研究について-
 - ◎ 「政府情報へのアクセス」
 - ・ 情報公開法・条例だけでなく、情報そのものへの注目
 - ・ 政府情報の整理・保存
 - ◎ どのような資料を用いたか -2001年の論文の場合- [抜刷論文紹介]
- ◆ 研究活動の実情と図書館の役割
 - ◎ 大学図書館と研究活動
 - ◎ 研究の手法とは：大まかに4つ
 - ・ 読解（文献研究）/ 調査 / 実験 / 事例研究
 - ◎ 学問領域と研究手法
 - ・ 文系 / 理系 / 総合・複合領域
 - ◎ 研究は「文献の探索→読解」に始まる!
 - ・ 研究したいテーマを絞り込む
 - ・ テーマを決めた後で...
 - ◎ 2つの種類の資料を使い分けるべし
 - ・ 一次資料 / 二次資料
 - ◎ 「二次資料」：具体的には?
 - ◎ 研究の手順
 - ◎ 研究活動と資料のサイクル
 - ・ 二次資料の活用を!
 - ◎ 図書と学術雑誌・その中の論文との基本的な違い
 - ◎ 情報の時間的流れ
 - ◎ 論文の構成要素
 - ◎ 引用文献・参考文献を示す必要性和意義
- ◆ まとめ
 - ・ 図書館やその外にある多様な情報の性質を見極める
 - ・ 「欲しい情報を探す」ためのツール（二次資料）を使いこなす
 - ・ 論文の形式を理解する
- ◆ これからの授業
 - ・ 第2回以降：図書館の「使いこなし方」を、段階を踏んで学んでいく（講義と演習）
 - ・ 最終回：総合演習として「参考文献リスト」を作成してもらう
 - ・ 参考文献とオープンコースウェア（OCW）の紹介
- ◆ 図書館職員からの事務連絡
 - ・ 講義と演習によって授業の場所が異なることに注意
 - ・ 演習までに ECD-ID を取得し、自分の ID・PW と覚えておくこと
 - ・ アンケート記入と提出のお願い

(記録：西川真樹子)